

# 「地域×デジタル 生成AI時代の新しい働き方セミナー in 東海」の開催結果 ＜生成AIで拓く地域活性化と新しい働き方＞

◇講演日時：令和7年12月18日（木）13：30～15：30（オンライン開催）

◇参加者数：38人

◇主 催：東海総合通信局、東海情報通信懇談会



## 講演1：「人口減少下における地域の生き残り戦略～デジタルを活用した持続可能な社会へ～」 講 師：一般社団法人Public Meets Innovation 理事 田中 佑典 氏

講演では、人口減少によって引き起こされるさまざまな問題にふれ、人口減少に適応できる地域社会をつくるためには、デジタル技術を活用して生産性を高め、供給を拡大できる組織づくりが求められると説明しました。さらに、講師自身がデジタル活用による地域課題解決に取り組んだ経験をもとに、デジタル活用によって可能になることやその重要性、そしてデジタル技術を導入する過程で生じた課題についても解説しました。



## 講演2：「生成AIが変える地域産業と働き方～人材不足時代を乗り越えるデジタル活用の最前線～」 講 師：株式会社TENHO 最高AI責任者（CAIO） 児玉 知也 氏

講演では、生成AIを活用するために必要な基本情報として、生成AIの仕組みや活用時のリスク、その対処法を説明し、生成AIの活用事例として製造業を中心に全国で進むAI導入の最新事例を紹介しました。また、人手不足という課題を抱える現場でAI技術を活用し、課題を解決するために重要なポイントや、現場主導で始められるデジタル化の取組について解説しました。



## 講演3：「学びが仕事になるまちへ～地方発・テレワーク×DX人材育成の実践～」 講 師：特定非営利活動法人ウィズワーク・ラボ 理事長 角 香里 氏

講演では、AIを「時間の余白を取り戻す技術」と位置づけ、物事の判断に費やす時間や対話の時間を仕事の中で十分に確保できるようにするためのツールとして、AIを活用する考え方を説明しました。また、働く意欲はあるものの、時間や場所に制約がある人材がデジタルスキルを学び、実際の企業案件に取り組める環境を整えた支援事例や、企業のDX課題に応じた提案事例などについても解説しました。